

大学の学び 高校生に講義

指宿高 弘前大・浅田教授がオンライン

高校生が大学での学びに触れる「プロフェッサー・ビジット」（朝日新聞社主催、代々木ゼミナール協賛）が18日、指宿市の県立指宿高校であった。弘前大学（青森県）理工学部数物科学科の浅田秀樹教授が「アインシュタイン博士の物理と宇宙」と題し、1、2年生168人にオンラインで講義した。

浅田教授はアインシュタインの一般相対性理論を用い、宇宙における物理現象について研究している。「シートの上に重いボウリングの玉を置くと、へこみますよね。その上に物をのせると、転がってしまいます」と身近な例をあげ、質量のある天体の周りでは時空がゆがみ、そこを進む光の軌道も曲がることを解説。この現象を応用し、宇宙の物質の90%以上を占めるとされるダークマター（暗黒物質）の解明など、さまざまな研究が進められていると説明した。

後半は、2020年2月から観測が始まった大型低温重力波望遠鏡「KAGRA(かぐら）」（岐阜県飛騨市）など最新の宇宙研究について触れ、「19年と20年、2年連続で宇宙分野の研究がノーベル物理学賞を受賞し、注目を集めています。みなさんも関心分野があれば、ぜひ研究の道に進んでください」と締めくくった。

（永井美帆）